

ガーリック + 通信



第 49 号 2015.6.10 発行

Diospyros kaki 'Jiro'

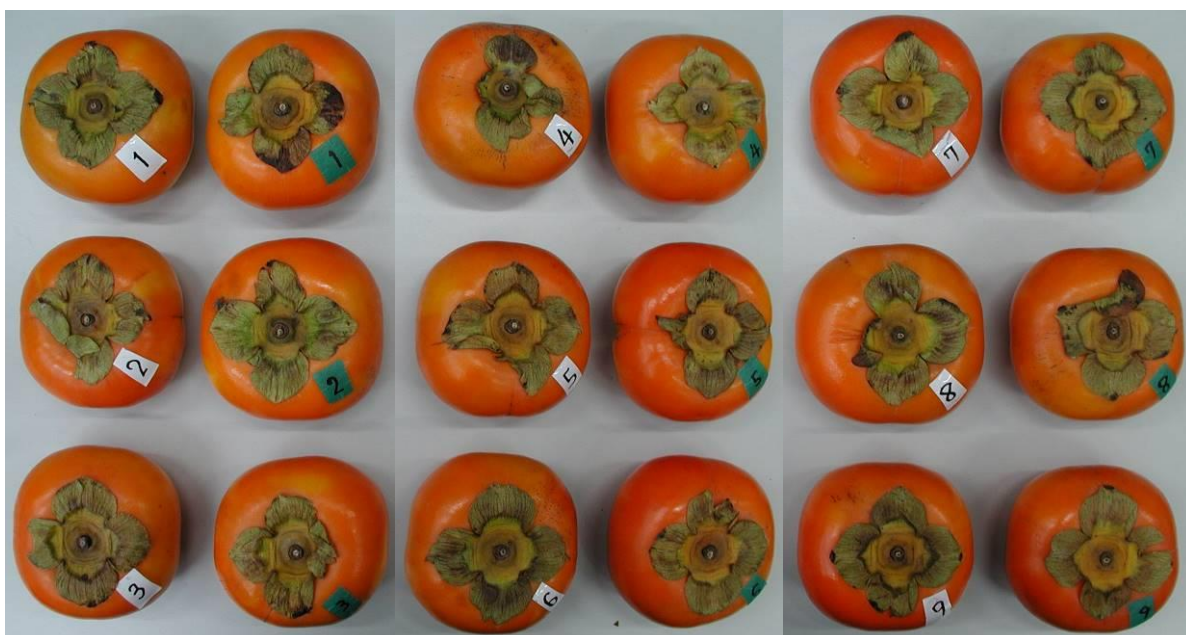
2014 年 11 月に第 3 期目の次郎柿の観察・食味実験を行いました。

第 1 期目は、2011 年 10 月～11 月に渋柿の「たねなし柿」や甘柿の「次郎柿」を用いて、柿は放射線照射が向きそうと感じました(ガーリック通信 30 号で報告済)。第 2 期目は、2012 年 11～12 月に長く追熟して、照射品の保存性を検討しました(ガーリック通信 40 号で報告済)。そして第 3 期目は、未熟な柿を照射すると熟するのが早くなるのではと考え試してみました。

今回も実験に使った次郎柿は、千葉さんが頂き物を提供してくださいました。

実験前に、千葉さんが自宅で、18 個の柿を未熟な順に並べ、熟度の近いものを 2 つずつ組にし、未熟なものを 1 番、熟しているものを 9 番としました。そして、原子力機構・高崎研に送り照射していただき、その後、3 人の会員(千葉・市川・飯塚)に決められた番号の柿が届きました。

観察は、会員 3 名と原子力機構・高崎研の菊地さんにも参加していただき、観察・食味を行いました。(飯塚 記)



<次郎柿 照射前>

















品目：次郎柿（浜北産）

- ・照射日：2014年11月13日(木)
- ・照射条件：500 Gy/60分 室温で照射、照射後室温で保存
- ・評価方法：照射後2～4日の間に観察・試食し、白いテープが貼ってある方を基準として比較
- ・食味テスト参加者：4名(円卓会員：3名、会員外：1名)

観察・試食者	千葉				原研職員	市川		飯塚	
	14日	14日	14日	14日		14日	15日	15日	16日
試食日(11月)	14日	14日	14日	14日	14日	15日	15日	16日	16日
柿の番号	1番	4番	7番	9番	8番	3番	6番	2番	5番
外観、皮の色	より赤い								
	ややより赤い	○			○			○	
	変わらない				○		○		○
	やや黄色が強い		○						
	黄色が強い			○					
試食前の香り	違う								
	やや違う		○		○○○				
	変わらない	○		○	○	○○	○	○	○
試食、味甘さ	甘い								
	やや甘い				○			○	
	変わらない	○	○		○	○○○			○
	やや甘さが弱い			○		○	○		
	甘さが弱い								
試食、風味	違う			○				○	
	やや違う	○	○		○				
	変わらない					○○○○	○	○	○
試食、硬さ	硬い			○					
	やや硬い	○	○		○	○○○○	○		
	変わらない					○		○	○
	やや軟らかい								
	軟らかい							○	
総合判断、	どちらも十分良い	○	○	○	○	○○○○	○	○	○
	白は良いが緑はまずい					○			
	緑は良いが白はまずい								
どちらの柿が	分からない				○○○			○	
照射か察しが	白が照射品				○	○			
つきましたか	緑が照射品								
照射した柿を	2回以上ある				○	○		○	
試食したことが	1回ある								
ありますか？	ない				○○○				
あなたは柿が好きですか？	好き				○○○	○		○	
	普通				○				
	嫌い				○				



1番 左：500 Gy 右：非照射

	照射前 2014.11.13 撮影	左(白) : 500 Gy 右(緑) : 非照射 1番,4番,7番,8番,9番 2014.11.14 撮影 2番,5番 2014.11.16 撮影
1		
2		
4		
5		
7		
8		
9		

感想など…におい・味・風味などが違う場合は、どう違うかも書いてください

- ・原研職員 白い柿の方が新芽のようなにおいがした。
「どちらの柿が照射かさつきがつかしましたか？」—白の方の匂いが強い気がしたから(当たり)
- ・市川 意識して食べると甘さの違いをわずかに感じるだけで後は同じように思いました。
渋みについてはどちらも無いと思いました。
- ・飯塚
 - ・緑2番の柿の底部分(ガクの反対側)が、金曜日に到着して確認したときから傷んでいた。
傷があった部分がひどく傷んだ状態(濃いグレー色)
そのため、外観の色も赤身かかっていたが、全体的には硬かった。
持ち帰り、本日取り出したが、傷んだ部分が広がっていた。
緑5番とは、あきらかに違う外観と柔らかさだった。
 - ・2番は極端な柔らかさの違いはあったが、甘さは少し甘いくらいだった。
 - ・5番は、外観の色の違い以外は(個体差のレベル)、違いはほとんど感じられなかった。
 - ・強いてどちらが照射品と考えたとき、昨年の例に習うと、白が照射品かと考えた。
が、2番の傷んでいた部分の色の変色が、元々あった傷が照射による影響と考えると
緑なのかもしれない。
- 千葉
 - ・1番 緑のテープ方が食べるとやや未熟のような、硬くて部分によって渋いときもある。
 - ・4番 白いテープの方がガク側が痛んでいる。緑のテープの方は渋味が後味に残る。
 - ・1・4番共通 風味は、白のテープの方がマイルド。
 - ・9番 緑のテープの方は渋味が後味に残る。風味が強く柿らしい。
 - ・1・4・9番どれも注意深く比較しないと、違いは分かりにくい。
 - ・7番は白いテープの方は、頂いたときから、ガクと反対側の中央に黒いしみが出来ていて、
照射の有無に関わらず熟するのが早かったと思われる。
実験に使わなかった同様に黒いしみがあって、程度がひどかったものを家に置いて観察
したところ、すぐに軟らかく熟していった。7番は、結果から外す必要がある。
 - ・14日に試食後、残りは冷蔵保存した。15日に4番を試食した。白より緑の方がやや硬い。
白から食べたせいか、白にも渋みはしっかりあった。
 - ・16日に1番を試食した。皮の外側から見て、同程度の部分で、一番黄色くて未熟な部分
を比較したところ、試食前の香りは、緑の方が未熟な香りがあった。
 - ・16日に9番を試食した。試食前の香りも、試食時の風味も味も同じようで、違いがほとんど
分からなかった。

今回の観察を終えて

2014年秋に頂いた柿は、送られた時から比較的熟していたのに加え、例年よりガク側に黒い筋(汚れかカビか、その混在か、私には不明)が多く、長期保存試験には向きそうになかった。それでも、2012年に出来なかった「保存はほとんどせず、早々に試食」なら可能と考え、試した。2011年に、熟したかどうか?という早い時期に試食した際、照射品の方が熟すの早い感じがしたが、1組しかなかったのも、チャンスがあればもっと試したいと願っていた。今回、どちらが照射品か知らされないで試食し、2011年と同様の傾向を感じた。試料が多ければ、証明できるだろうと思う。(千葉 記)

次郎柿とは・・・

次郎柿(じろうがき)は、静岡県周智郡森町の松本治郎吉氏(1813-1887年)が1844年太田川で見つけた幼木を自宅に持ち帰り、植えたのがはじまりとされている。

原木は1869年(明治2年)に火事によって一度焼失したが、翌年その根元からあらたに芽を出してきた木は、以前より甘く美味しい実を付ける柿ノ木に育ち、現在でも静岡県の指定天然記念物として保存され現存している。

富有柿と次郎柿は柿の代表格でよく比較されるが「富有はあごで食べ、次郎は歯で食べる」と言われる。富有柿は果肉がやわらかく、次郎柿は硬めで歯ごたえがある柿ということを表している。
(『旬の食材百科』<http://foodslink.jp/syokuzaihyakka/syun/fruit/kaki-Jiro.htm>) (飯塚 記)